

# 天狗山山行報告

**【山行日】** 2023年 12月 24(日) 晴れ  
**【集 合】** 岩舟支所P AM 7:00  
**【費 用】** マイカー2台 : 500円  
**【メンバー】** CL:鈴木ユ、SL 大西 青柳、飯口、飯野、伊藤、植竹、大塚、関、福島、藤原ト、渡辺  
**【コースタイム】**岩舟支所 P7:00=さいこうふれあいセンター東 P7:40/7:50~観音山 8:30/8:40~天狗山9:05/9:15~両崖山9:55/10:10~両崖山北ピーク 10:30~両崖山展望台 10:40/10:50~織姫神社 11:40~さいこうふれあいセンター東 P11:50/12:00=ラーメン「おぐらや」12:20/13:00=あわしま堂 13:20/13:40=岩舟支所 P14:00



冬季里山ハイクとして天狗山山行を計画した。大規模な山林火災後、我輩は初めて登るので楽しみにしていた。岩舟支所を7:00に出発し、織姫神社下駐車場に着くとすでに満車で止められない。ここでトイレを済ませてから、すぐ先のさいこうふれあいセンター東の駐車場に移動し車を止める。出発の準備を整え、ストレッチを行ったら出発する。道路を西に向かって進み、常念寺の先から登山口の標識に従って石段を登って行く。石段を登ると直ぐ子安観音堂に出て、安全登山をお祈りし観音堂の裏から右に登山道へ入る。雑木林の登山道は木々の葉が落ちて明るく、これぞ里山と言うような山道を賑やかに登って行く。最初のピークの観音山で小休止し、衣服調整と水分補給を行う。ここからは気持ちが良い稜線歩きとなり、皆さんも「やっぱり山は楽しいよね～」とご機嫌で歩いて行く。アップダウンを繰り返しながら登り、須永山から一旦下って登り返すと展望台への分岐がある。先日のテレビ番組「そこに山があるから」で南野洋子が展望を楽しんだ場所だが、今回は大勢なのでスルーする。かわら山を過ぎると本経寺からの道と合わさり、さらに急坂を登ると天狗山山頂に着く。山頂にはベンチや石祠、標識が置かれ、山頂標識の前で記念写真を撮ったら休憩する。山林火災の痕跡は感じなかったが、良く見ると木々の根元に黒く焼けた跡が残っていた。展望を楽しみながらリンゴや菓子をいただき、皆さんはスマホで山頂からの景色を収めていた。





山頂から北に下るが直ぐにクサリ場があり、先頭がなかなか降りられず苦戦している。右側に巻道



が有るので、後ろの人達はそちらから下ると難なく下れた。少し先には天狗岩のクサリ場が有るので、クサリ場が苦手な方達は巻道を下って行く。我々がクサリ場を下って行くと、巻道を降りた人達が下って来ない。何かあったのかと心配したら、天狗山のお札を配る方と会って、お札をいただけようだ。SLがお札を持ってない人にお札をあげて、もらった方達は喜んでいて。鞍部まで下って平坦な道を進むと急な岩場の登りになり、登り切って少し下ると

両崖山への石段に出る。石段を登ると両崖山の山頂に出て、山頂標識や神社の祠が並んでいる。石造りの御嶽神社は焼けずに残っていたが、木造の天満宮は焼け落ちて台座だけが残っていた。

御嶽神社の前で記念写真を撮ったら下山開始し、織姫神社に向かって南側の尾根を下って行く。尾根を下ると直ぐに展望台があり、ここで休憩して足利市街の展望を楽しむ。ここからは岩とアカマツの明るい稜線歩きとなり、展望を楽しみながら軽快に下って行く。このコースは足利市民の健康ハイクのコースになっていて、大勢のハイカーが登ってくる。お互いに挨拶を交わしながら歩き、織姫公園でトイレタイムをとる。ここから舗装道路を歩いてすぐ先の階段を下り、織姫神社に着



いたら参拝する。神社からカラフルな鳥居を見ながら石段を下り、道路に出たら右に進むとさいこうふれあいセンター駐車場に着く。靴を履き替えたなら車に乗り、昼食場所のおぐら屋へ向かう。おぐら屋に着くと大勢の人が順番を待っており、順番表に名前を書いて店の前で待つ。30分くらいで名前を呼ばれ、4人ずつ3ヶ所に分かれてテーブルに案内される。テーブルにいたら各自オーダーし、餃子は直ぐに出される。餃子を食べている間にラーメンも運ばれてきて、20分くらいで

食べ終えた。途中、あわしま堂に寄って買い物し、予定より1時間早く岩舟支所に帰着した。